

## 1. 3次元のポイントのシェープファイルの保存を修正

3次元のポイントのシェープファイルを保存する際に、各レコードに記録するシェープタイプを

1 Point

としていました。そのため、ArcGIS Explore などでの 3D 表示の際に、Z=0.0 の位置に表示されていました。

レコードに記録するシェープファイルを

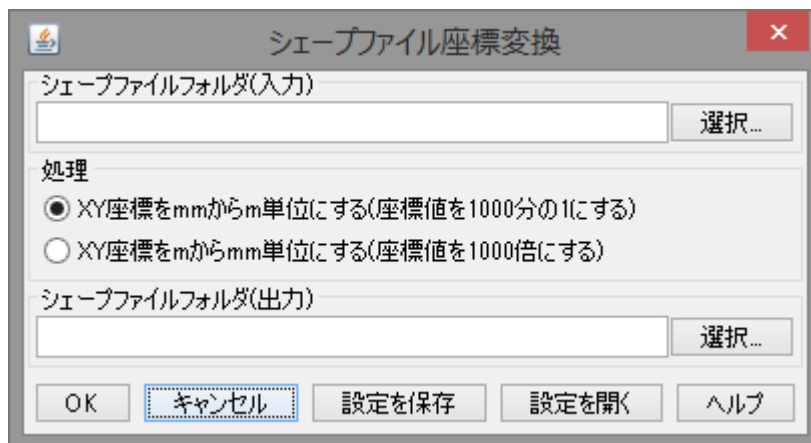
11 PointZ

に修正しました。

## 2. シェープファイル座標変換

新メニュー[座標変換]-[シェープファイル座標変換]を追加しました。

シェープファイルの座標がミリメートルで記録されている場合、メートルでの記録に変換します。  
あるいは、その逆の変換を行います。



### シェープファイルフォルダ(入力)

mに変換する場合、座標が mm 単位で記録されているシェープファイルのフォルダを指定します。

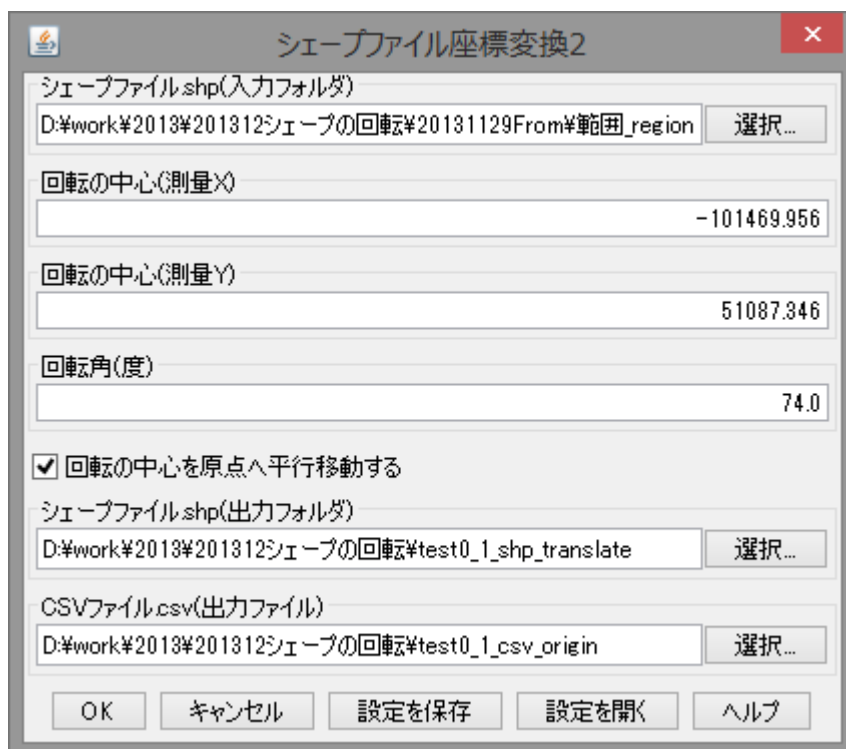
### シェープファイルフォルダ(出力)

座標変換したシェープファイルを作成するフォルダを指定します。

## 3. シェープファイル座標変換 2

新メニュー[座標変換]-[シェープファイル座標変換 2]を追加しました。

シェープファイルの XY 座標について、指定された座標を中心に回転します。



#### シェープファイル shp (入力フォルダ)

変換元のシェープファイルのフォルダを指定します。

#### 回転の中心

回転の中心の座標を指定します。

#### 回転角(度)

回転の角度を度単位で指定します。

#### 回転の中心を原点へ平行移動する

元の座標について、回転の中心を(0,0)へ平行移動します。

#### シェープファイル shp(出力フォルダ)

座標変換したシェープファイルを作成するフォルダを指定します。

#### CSV ファイル csv(出力フォルダ)

座標変換した座標を CSV ファイルに記録します。

ポリライン・ポリゴンの頂点あるいはポイントの点の座標

測量 X 測量 Y  
あるいは  
測量 X 測量 Y Z  
の順で記録します。

#### 4. ダングルチェック

メニュー「チェック／ダングルチェック」を追加しました。

<http://www.geocoach.co.jp/help/SHPDangleCheckDialog.pdf>

#### 5. ヘルプ

メニュー「ヘルプ／ヘルプ表示ブラウザ指定」を追加しました。



<http://www.geocoach.co.jp/help/HelpBrowserSettingDialog.pdf>